# 2014年度2年次の学修活動に関するアンケートの結果(報告)

# IR センター教育情報分析室・FD 委員会

## I. アンケートの概要

2015年1月から2月に2年生を対象にユニパのアンケート機能を用いて実施した。アンケートは、回答者の属性、施設・設備等の利用状況、学士力達成度・専門性の向上・教育目標の達成・意欲の伸び(以下、学士力等の伸展)、諸活動に書ける時間に関する項目より構成されている。193名の回答が得られた(回答率14.2%)。

# Ⅱ. 全体の傾向

## 1. 回答者の属性と施設・設備等の利用状況

回答者の学科構成を表 1-1、属性を表 1-2 に示す。

表1-1 学科

<u> </u>		
学科名	度数	%
社会福祉学科	46	23.8
社会教育学科	22	11.4
福祉心理学科	27	14.0
産業福祉マネジメント学科	11	5.7
情報福祉マネジメント学科	7	3.6
子ども教育学科	37	19.2
保健看護学科	9	4.7
リハビリテーション学科	5	2.6
医療経営管理学科	29	15.0
総計	193	100.0

表1-2 属性			
項目	カテゴリ	度数	%
性別	男性	49	25.4
	女性	144	74.6
入試形態	AO入試	17	8.8
	推薦入試	52	26.9
	一般入試	124	64.2
居住形態	自宅	108	56.0
	自宅以外	85	44.0
部・サークルの所属	無	51	26.4
	有	142	73.6
ボランティア活動	無	61	31.6
	有	132	68.4
国際交流経験	無	186	96.4
	有	7	3.6
アルバイト経験	無	34	17.6
	有	159	82.4
キャリアデザインⅡ	無	185	95.9
の履修	有	8	4.1
インターンシップ I	無	181	93.8
の履修	有	12	6.2
実学臨床教育	無	87	91.6
(総合福祉学部のみ)	有	8	8.4
副専攻の履修	無	105	92.9
(総合福祉学部、総合マ ネジメント学部のみ)	有	8	7.1

## 2. 施設・設備等の利用状況

施設・設備等の利用状況を表 2-1 に示す。

表2-1 施設等の利用状況

		なし	たまに	ときどき	頻繁に	無回答
図書館	度数	9	62	68	53	1
	%	4.7	32.1	35.2	27.5	0.5
美術工芸館	度数	164	21	5	1	2
	%	85.0	10.9	2.6	0.5	1.0
キャリアセンター	度数	141	37	11	0	4
	%	73.1	19.2	5.7	0.0	2.1
保健室・ウェルネス支援室・学生相談室	度数	118	54	12	0	9
	%	61.1	28.0	6.2	0.0	4.7
学習室、食堂(学習目的限定)	度数	14	45	62	71	1
	%	7.3	23.3	32.1	36.8	0.5
語学•異文化学習支援室	度数	168	18	3	1	3
	%	87.0	9.3	1.6	0.5	1.6
コミュニケーションタイム	度数	177	8	3	0	5
	%	91.7	4.1	1.6	0.0	2.6
UNIPA クラスプロファイル機能	度数	44	72	45	30	2
	%	22.8	37.3	23.3	15.5	1.0
UNIPA リエゾンポートフォリオ	度数	118	55	14	3	3
	%	61.1	28.5	7.3	1.6	1.6
Webテキスト「リエゾンゼミ・ナビ」	度数	151	33	3	0	6
	%	78.2	17.1	1.6	0.0	3.1
tfuマイカルテシステム・tfu元気点検道	度数	174	15	4	0	0
場・tfu元気点検票かるた	%	90.2	7.8	2.1	0.0	0.0

次いで、授業履修時のシラバス・履修モデル・履修系統図の活用について、表 2-2 と表 2-3 に示す。

表2-2 履修モデル・履修系統図の認知について

		知らない	知ってい
			る
自分の学科・コースの履修モデル	度数	51	142
	%	26.4	73.6
自分の学科・コースの履修系統図	度数	71	122
	%	36.8	63.2

表2-3 履修時に参考にする情報について

AL C INDENTED STEP DIFFERENCE CO						
		参考にし	あまり参	まあまあ	かなり参	無回答
		なかった	考にしな	参考にし	考にした	
			かった	<i>t</i> =		
シラバス	度数	4	17	97	73	0
	%	2.1	8.8	50.3	37.8	0.0
履修モデル	度数	37	43	73	39	1
	%	19.2	22.3	37.8	20.2	0.5
履修系統図	度数	52	47	65	27	2
	%	26.9	24.4	33.7	14.0	1.0

続いて、所属する学科の教育目標とディプロマ・ポリシーの認知状況について表 2-4 に示す。

表2-4 学科の教育目標、ディプロマ・ポリシーの認知

	ノーリーの	AH				
		知らない	あまり知	まあまあ	かなり	無回答
			らない	知ってい	知ってい	
				る	る	
学科の教育研究上の目的・教育目標	度数	33	75	77	5	3
	%	17.1	38.9	39.9	2.6	1.6
学科のディプロマ・ポリシー	度数	50	81	58	3	1
	%	25.9	42.0	30.1	1.6	0.5

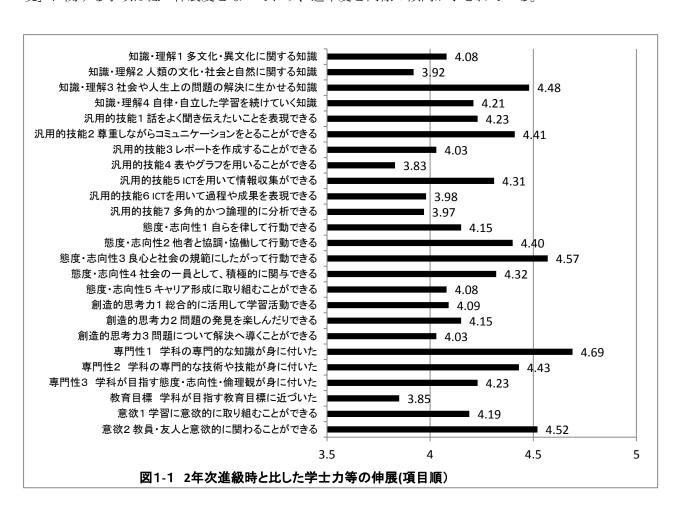
最後に、リエゾンゼミⅡに対する評価を表 2-5 に示す。

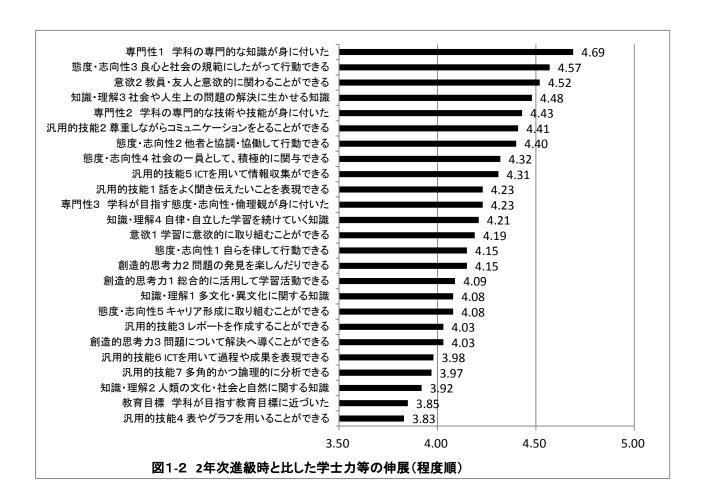
表2-5 リエゾンゼミⅡに対する評価

		充実して	あまり充	まあまあ	かなり充	無回答
		いなかっ	実してい	充実して	実してい	
		た	なかった	いた	た	
リエゾンゼミⅡ	度数	4	26	98	64	1
	%	2.1	13.5	50.8	33.2	0.5

### 3. 学士力等の伸展

2年次進級時と比した学士力等の伸展について、項目順にまとめたものを図 1-1、の程度順にまとめたものを図 1-2 に示す。全ての項目が平均値 3.5 以上(伸展したことを意味する、「非常にそう思う」を 6、「まったくそう思わない」を 1とする 6 件法)であった。特に「学科の専門的知識・技術」「社会規範の順守」「他者との協働・協同」「学習意欲」に関する伸びが大きいことが示された。一方で「分析・解決」「レポート表現」に関する事項は低い伸展度となっており、過年度と同様の傾向が示されている。





### 4. 諸活動時間

1 週間当たりの諸活動にあてる時間について表3にまとめた。各項目において割合上位の2つの時間帯を 太字にしている。

表3 1週間あたりの諸活動時間

		0時間	1時間未満	1~2時間	3~5時間	6~10時間	11~15時間	16~20時間	20時間以上	無回答
履修している授業の予習や復習をす	度数	13	44	68	45	10	4	0	3	6
る	%	6.7	22.8	35.2	23.3	5.2	2.1	0.0	1.6	3.1
授業に出席する	度数	0	1	1	7	9	25	35	105	10
技来に日孫 9 句	%	0.0	0.5	0.5	3.6	4.7	13.0	18.1	54.4	5.2
オフィスアワーを利用するなどして、	度数	119	47	14	1	1	0	0	1	10
授業時間以外に教員と面談する	%	61.7	24.4	7.3	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	5.2
読書をする(予復習のための教科書・	度数	41	58	47	27	5	3	1	3	8
専門書を除く)	%	21.2	30.1	24.4	14.0	2.6	1.6	0.5	1.6	4.1
±CBB + =± + \	度数	68	88	22	4	3	1	0	0	7
新聞を読む	%	35.2	45.6	11.4	2.1	1.6	0.5	0.0	0.0	3.6
ハカ カル オー コナヨ ギフ	度数	20	79	56	19	6	3	1	0	9
インターネットでニュースを調べる	%	10.4	40.9	29.0	9.8	3.1	1.6	0.5	0.0	4.7
ゼニヽニ (マエ動ナナフ	度数	72	33	32	32	7	1	0	9	7
ボランティア活動をする	%	37.3	17.1	16.6	16.6	3.6	0.5	0.0	4.7	3.6
アルバイトをする	度数	36	5	7	22	42	35	13	25	8
アルハイトでする	%	18.7	2.6	3.6	11.4	21.8	18.1	6.7	13.0	4.1

### 5. 属性と学士力等の伸展の関連

学士力等の伸展と統計的に有意に関連がみられた属性は表4の通りであった。

表4 属性と学士力等の伸展の関係

	住と子工力寺の仲成の関係	性	入	居	ル部	アボ	围	ア	ザキ	シイ	育実	副
		別	試	住	活・	活ラ	際	ル	イヤ	ッン	学	専
			形	形	動サ	動ン	交	バ	ンリ	プタ	臨	攻
			態	態	 ク	ティ	流	イト	II ア デ	I I	床教	
	多文化・異文化に関する知識				,	7	±= /±	17	,		- X	
Anith TO		H \ <del></del>			## / <del> </del>		無く有					
	人類の文化・社会と自然に関する知識	男>女	-		無く有							
丹牛	社会や人生上の問題の解決に生かせる知識											
	自律・自立した学習を続けていく知識											
	話をよく聞き伝えたいことを表現できる											
	尊重しながらコミュニケーションをとることができる				無く有	無く有	無く有					
汎用的技	レポートを作成することができる											
能	表やグラフを用いることができる							無>有			<b></b>	
	ICTを用いて情報収集ができる											
	ICTを用いて過程や成果を表現できる											
	多角的かつ論理的に分析できる											
	自らを律して行動できる											
**** +	他者と協調・協働して行動できる				無<有		無く有					
態度·志 向性	良心と社会の規範にしたがって行動できる						無<有				無く有	
1-311	社会の一員として、積極的に関与できる		推薦>一般									
	キャリア形成に取り組むことができる		推薦>AO				無<有					
A13# 44 III	総合的に活用して学習活動できる											
創造的思 考力	問題の発見を楽しんだりできる										無<有	
75/1	問題について解決へ導くことができる									無<有		
	所属する学科の専門的な知識	男く女										
専門性	所属する学科の専門的な技術や技能	男く女										
	所属する学科が目指す態度・志向性や倫理観											
教育目標	所属する学科が目指す教育研究上の目的や教育目標											
意欲	学習に意欲的に取り組むことができる											無く有
息欲	教員・友人と意欲的に関わることができる	***************************************		***************************************	•				<b>,</b>			無く有

# 6. 施設・設備の利用と学士力等の伸展

学士力等の伸展と統計的に有意に関連がみられた施設・設備の利用は、表 5・1 の通りであった(表中数値は順位相関係数)。特に係数が.20 を超えている項目を太字とした。これらの部分はすべて弱いながらも正の関連を示しており(利用する者のほうが利用しない者よりも伸びを高く示すことを意味する)、特に「学習室(学習目的の食堂利用を含む)」「UNIVERSALPASSPORT のクラスプロファイル機能の活用」が学士力等の伸展との正の関わりを持っていることが示された。

表5-1 学士力等の伸展と施設利用の関係

	子工力等の仲族と爬設利用の展別	図書館	美術工芸館	キャリアセン ター	保健室・ウェ ルネス・学生 相談室	学習室			クラスプロ ファイル機能		リエゾンゼミ ナビ	tfuマイカルテ システム
	多文化・異文化に関する知識	.15*		.16*		.15*	.16*				.18*	.17*
7	人類の文化・社会と自然に関する知識	.18*	.16*			.25**					.16*	
解	社会や人生上の問題の解決に生かせる知識			.17*						.16*	.17*	.15*
	自律・自立した学習を続けていく知識	.19**				.28**			.24**			.16*
	話をよく聞き伝えたいことを表現できる					.19*			.20**	.18*	.17*	.18*
	尊重しながらコミュニケーションをとることができる			.18*		.35**	.15*					
汎用的	レポートを作成することができる	.16*		.15*		.21**					.17*	.15*
技能	表やグラフを用いることができる			.22**		.15*		.16*	.21**	.25**	.24**	.15*
	ICTを用いて情報収集ができる	.24**		.16*		.19**			.18*	.20**	.19*	.17*
	ICTを用いて過程や成果を表現できる			.16*		.22**				.16*		
	多角的かつ論理的に分析できる					.18*						.20**
	自らを律して行動できる			.19*						.15*		
態度·志	他者と協調・協働して行動できる			.15*		.29**				.20**	.15*	
態度*心 向性	良心と社会の規範にしたがって行動できる	.16*										
	社会の一員として、積極的に関与できる											
	キャリア形成に取り組むことができる	.23**		.17*	.16*	.19**		.15*	.16*		.17*	
創造的	総合的に活用して学習活動できる					.17*		.16*				
思考力	問題の発見を楽しんだりできる	.17*	.16*		.23**	.15*					.21**	
	問題について解決へ導くことができる	.17*			.15*	.17*						.21**
	所属する学科の専門的な知識					.30**			.21**			.15*
専門性	所属する学科の専門的な技術や技能					.22**			.17*			.18*
	所属する学科が目指す態度・志向性や倫理観	.21**				.18*			.17*		.19*	.16*
教育目標	所属する学科が目指す教育研究上の目的や教育目標		.16*			.25**			.29**	.16*	.18*	
意欲	学習に意欲的に取り組むことができる	.16*	.17*						.22**	.18*	.21**	
AEA TAX	教員・友人と意欲的に関わることができる				.17*	.26**						.18*

注1:表中、数値はスピアマンの順位相関係数注2:有意な相関係数のみ掲載\* p<.05 \*\* p<.01

続いて、学士力達成度等の伸展と履修時のシラバス・履修モデル・履修系統図の活用の関連について表 5-2、学士力等の伸展と履修時の学科の教育目標等の認知の関連について表 5-3、リエゾンゼミ I の充実度と学士力等の伸展の関連について表 5-4 に示す。これらより学士力等の伸展に、シラバスを十分に活用して授業選択を

行うこと(表 5-2)、学科の教育目標やディプロマ・ポリシーをよく知ること(表 5-3)、リエゾンゼミⅡが充実し ていたと評価できること(表 5-4)が関連していることが示された。

表5-2 学士力等の伸展と履修時の参考の程度の関係

	] 工分号の件放こ版例の2000	シラバス	履修モデル	履修系統図
	多文化・異文化に関する知識	.30**	.24**	.24**
知識・理	人類の文化・社会と自然に関する知識	.30**	.24**	.29**
解	社会や人生上の問題の解決に生かせる知識	.37**	.17*	.18*
	自律・自立した学習を続けていく知識	.34**	.22**	.22**
	話をよく聞き伝えたいことを表現できる	.25**	.29**	.28**
	尊重しながらコミュニケーショ ンをとることができる	.31**	.15*	.22**
汎用的技能 [[	レポートを作成することができる	.21**	.15*	.18*
	表やグラフを用いることができる	.21**	.28**	.26**
HE.	ICTを用いて情報収集ができる	.33**	.18*	.19**
	ICTを用いて過程や成果を表現できる	.18*	.21**	.28**
	多角的かつ論理的に分析できる	.27**		
	自らを律して行動できる	.31**	.23**	.26**
** +	他者と協調・協働して行動できる	.31**	.16*	.19**
態度・志 向性	良心と社会の規範にしたがって行動できる	.23**		
1-312	社会の一員として、積極的に関与できる	.17*	.18*	
	キャリア形成に取り組むことができる	.29**	.21**	.25**
会外共口	総合的に活用して学習活動できる	.31**	.27**	.31**
創造的思 考力	問題の発見を楽しんだりできる	.15*	.29**	.23**
.,,,,	問題について解決へ導くことができる	.28**	.24**	.25**
	所属する学科の専門的な知識	.18*	.24**	.18*
専門性	所属する学科の専門的な技術や技能	.22**	.15*	.19**
	所属する学科が目指す態度・志向性や倫理観	.28**	.18*	.19**
教育目標	所属する学科が目指す教育研究上の目的や教育目標	.35**	.25**	.34**
意欲	学習に意欲的に取り組むことができる	.29**	.20**	.15*
忌似	教員・友人と意欲的に関わることができる	.17*		

注1:表中、数値はスピアマンの順位相関係数 \* p<.05 \*\* p<.01

注2:有意な相関係数のみ掲載

表5-3 学士力等の伸展と教育目標他の認知の関係

		学科の目 的・教育目 標	ディプロマ・ ポリシー
	多文化・異文化に関する知識	.16*	.30**
知識・理	人類の文化・社会と自然に関する知識	.29**	.26**
解	社会や人生上の問題の解決に生かせる知識	.27**	.26**
	自律・自立した学習を続けていく知識	.30**	.30**
	話をよく聞き伝えたいことを表現できる	.21**	.22**
	尊重しながらコミュニケーショ ンをとることができる	.26**	.26**
'n m4644	レポートを作成することができる	.26**	.27**
汎用的技 能	表やグラフを用いることができる	.33**	.31**
HE	ICTを用いて情報収集ができる	.27**	.17*
	ICTを用いて過程や成果を表現できる	.33**	.29**
	多角的かつ論理的に分析できる	.25**	.25**
	自らを律して行動できる	.21**	.25**
	他者と協調・協働して行動できる	.27**	.22**
態度·志 向性	良心と社会の規範にしたがって行動できる	.18*	.25**
1 <del>-</del> 11 (±	社会の一員として、積極的に関与できる	.28**	.24**
	キャリア形成に取り組むことができる	.31**	.28**
015# 11 F	総合的に活用して学習活動できる	.34**	.30**
創造的思 考力	問題の発見を楽しんだりできる	.21**	.21**
つり	問題について解決へ導くことができる	.29**	.29**
	所属する学科の専門的な知識	.17*	.16*
専門性	所属する学科の専門的な技術や技能	.20**	.25**
	所属する学科が目指す態度・志向性や倫理観	.22**	.32**
教育目標	所属する学科が目指す教育研究上の目的や教育目標	.44**	.39**
辛呦	学習に意欲的に取り組むことができる		.20**
意欲	教員・友人と意欲的に関わることができる	.17*	.21**

注2:有意な相関係数のみ掲載

表5-4 学士力等の伸展とリエゾンゼミⅡの充実度の関係

		リエゾンゼミ Ⅱ
	多文化・異文化に関する知識	.31**
知識・理	人類の文化・社会と自然に関する知識	.32**
解	社会や人生上の問題の解決に生かせる知識	.34**
	自律・自立した学習を続けていく知識	.31**
	話をよく聞き伝えたいことを表現できる	.33**
	尊重しながらコミュニケーショ ンをとることができる	.19*
`n m454±	レポートを作成することができる	.34**
汎用的技 能	表やグラフを用いることができる	.33**
HC	ICTを用いて情報収集ができる	.36**
	ICTを用いて過程や成果を表現できる	.23**
	多角的かつ論理的に分析できる	.32**
	自らを律して行動できる	.18*
44 <del></del>	他者と協調・協働して行動できる	.27**
態度·志 向性	良心と社会の規範にしたがって行動できる	.27**
1-717	社会の一員として、積極的に関与できる	.15*
	キャリア形成に取り組むことができる	.24**
015# 11 E	総合的に活用して学習活動できる	.29**
創造的思 考力	問題の発見を楽しんだりできる	.20**
75 /3	問題について解決へ導くことができる	.20**
	所属する学科の専門的な知識	.21**
専門性	所属する学科の専門的な技術や技能	
	所属する学科が目指す態度・志向性や倫理観	.21**
教育目標	所属する学科が目指す教育研究上の目的や教育目標	.43**
意欲	学習に意欲的に取り組むことができる	.25**
息似	教員・友人と意欲的に関わることができる	

注1:表中、数値はスピアマンの順位相関係数 \* p<.05 \*\* p<.01

# 8. 活動時間と学士力等の伸展の関連

学士力等の伸展と統計的に有意に関連が示された諸活動は表6の通りであった。特に「教員との面談」予 復習」及び「新聞」に費やす時間の多さが学士力等の伸展と関連していることが示された。

表6 学士力等の仲展と活動時間の関係

表6 与	全士力等の伸展と活動時間の関係	T 45 17		1	i nn -:				
		復授	る授	すに授	門一読	新	をトイ	活ボ	すア
		習業	業 に	る教業	書教書	聞	調でン ベニタ	動ラ	るル
		をの す予	出	員時 と間	を科を 除書す	を 読	ヘータ るュ l	をン すテ	バ
		る習	席	面以	はよる	訳 お	るユー   ネ	9 T る イ	イト
		も	す	談外	、	v	- イ スッ	ア	を
	多文化・異文化に関する知識	,	,	IS. T.				.20**	<b>−.21</b> **
印識・理	人類の文化・社会と自然に関する知識				.18*	.26**		.15*	−.15*
解	社会や人生上の問題の解決に生かせる知識	.22**							
	自律・自立した学習を続けていく知識	.23**	.18*						
	話をよく聞き伝えたいことを表現できる			.17*					
	尊重しながらコミュニケーションをとることができる					.19*		.22**	
	レポートを作成することができる		.17*			.20**			
汎用的 技能	表やグラフを用いることができる			.26**		.27**			
汉阳	ICTを用いて情報収集ができる			.22**		.17*		.15*	
	ICTを用いて過程や成果を表現できる					.15*			
	多角的かつ論理的に分析できる								
	自らを律して行動できる								−.16*
	他者と協調・協働して行動できる		.20**	.18*					−.15*
態度·志 向性	良心と社会の規範にしたがって行動できる		.16*					.18*	
1-7 1-1	社会の一員として、積極的に関与できる		.19*	.19**				.20**	
	キャリア形成に取り組むことができる			.32**					
	総合的に活用して学習活動できる			.20**		.25**		.15*	
創造的 思考力	問題の発見を楽しんだりできる		.18*	.15*	.23**	.20**	.20**	.25**	
107 J	問題について解決へ導くことができる			.27**		.15*	.23**		
	所属する学科の専門的な知識		.15*						
専門性	所属する学科の専門的な技術や技能		.16*						
	所属する学科が目指す態度・志向性や倫理観								
<b>教育目標</b>	所属する学科が目指す教育研究上の目的や教育目標								
意欲	学習に意欲的に取り組むことができる			.16*	•				
总似	教員・友人と意欲的に関わることができる		.19*	.24**					

注1:表中、数値はスピアマンの順位相関係数 注2:有意な相関係数のみ掲載

\* p<.05 \*\* p<.01

### 【資料1 学士力達成度・専門性の向上・教育目標の達成・意欲の伸びの項目】

#### (1)知識・理解

- 1)2年次進級時に比べ、さまざまな文化や自分とは異なる文化の立場の人の考えや気持ち、行動をとらえるようになり、多文化・異文化に関する知識の理解ができた
- 2)2年次進級時に比べ、歴史的文化的な事象や社会の事象、自然の事象について、その意味とその事象が 起きた理由と自分との関連をとらえるようになり、人類の文化・社会と自然に関する知識の理解ができ た
- 3)2年次進級時に比べ、将来に出会う社会の問題や人生上の問題の解決に生かせる知識を学んだ
- 4)2年次進級時に比べ、自律・自立した学習(自ら進んで、到達目標と学習計画を立て、実践し、自己および他者による点検や評価を行い、改善と見直しをするという取り組み)をこれから続けていくための知識や情熱を獲得した

#### (2) 汎用的技能

- 5)2年次進級時に比べ、他人の話をよく聞き自分の伝えたいことをわかりやすく表現できるようになった
- 6)2年次進級時に比べ、自分とは異なる意見を持つ人と互いを尊重しながらコミュニケーションをとることができるようになった
- 7)2年次進級時に比べ、証拠に基づいてわかりやすく説得力のあるレポートを作成することができるようになった
- 8)2年次進級時に比べ、表やグラフを用いて分析し、理解し、表現することができるようになった
- 9)2年次進級時に比べ、インターネットなどの情報通信技術 (ICT) を用いて問題解決のための情報収集 ができるようになった
- 10)2年次進級時に比べ、プレゼンテーションソフトなどの情報通信技術 (ICT) を用いて問題解決の過程 や成果を表現できるようになった
- 11)2年次進級時に比べ、ものごとを多角的かつ論理的に分析できるようになった

#### (3) 態度·志向性

- 12) 2 年次進級時に比べ、時間の管理や健康管理、感情や欲求の適切なコントロール、状況に応じた適切な対処行動など、自らを律して行動できるようになった
- 13) 2 年次進級時に比べ、他者と協調・協働して、目標の実現のために、問題を共有し、方向性を示し、行動できるようになった
- 14)2年次進級時に比べ、自らの良心と社会の規範やルールにしたがって行動できるようになった
- 15) 2 年次進級時に比べ、社会の一員としての意識を持ち、人びとの幸せや地域・社会の発展のために積極的に関与できるようになった
- 16) 2 年次進級時に比べ、自分をよく理解し、将来の展望を描き、キャリア形成に取り組むことができるようになった

### (4) 統合的な学習経験と創造的思考力

- 17)2年次進級時に比べ、実際場面で出会う課題について、これまで獲得したさまざま知識と理解、汎用的 技能、態度・志向性を総合的に活用して学習活動できるようになった
- 18) 2 年次進級時に比べ、社会を広く見わたし疑問に思ったり問題の発見を楽しんだりできるようになった
- 19)2年次進級時に比べ、発見した問題について情報を集め、討議や調査などを行い、ねばり強く分析・整理して解決へ導くことができるようになった

### (5) 専門性

20)2年次進級時に比べ、所属する学科の専門的な知識が身に付いた

- 21) 2 年次進級時に比べ、所属する学科の専門的な技術や技能が身に付いた
- 22) 2 年次進級時に比べ、所属する学科が目指す専門職のもつべき倫理観が身に付いた

# (6)教育目標

23)2年次進級時に比べ、所属する学科が目指す教育研究上の目的や教育目標に近づいた

# (7) 意欲

- 24) 2年次進級時に比べ、大学での学習に意欲的に取り組むことができるようになった
- 25) 2年次進級時に比べ、大学で教員・友人と意欲的に関わることができるようになった

# 【参考資料 2013年度の結果】

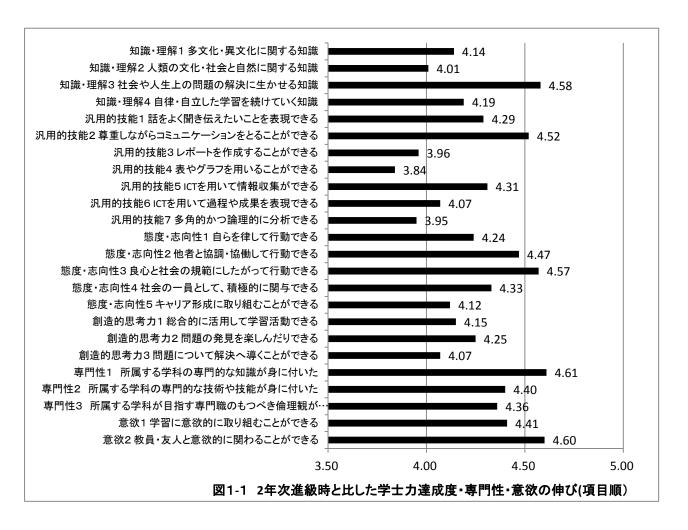
表1-1 学科

学科名	度数	%
社会福祉学科	141	28.8
社会教育学科	51	10.4
福祉心理学科	51	10.4
産業福祉マネジメント学科	42	8.6
情報福祉マネジメント学科	40	8.2
子ども教育学科	66	13.5
保健看護学科	27	5.5
リハビリテーション学科	39	8.0
医療経営管理学科	32	6.5
総計	489	100.0

表1-2 属性

性別     男性 女性 343 70.1 無回答     145 0.2     29.7 10.2       入試形態     AO入試 推薦入試 138 28.2 一般入試 無回答     298 60.9 60.9 2 0.4       居住形態     自宅 自宅以外 無回答     209 20,4       部・サークルの所属     137 4 351 71.8 無回答     28.0 2 0.4       部・サークルの所属     137 4 351 71.8 無回答     28.0 351 71.8 45.6 無回答       国際交流経験     166 45.6 無回答     33.9 4 5       国際交流経験     454 454 92.8 有 30 6.1 無回答     92.8 30 6.1 5       アルバイト経験     第2 18.8 有 396 81.0 無回答     18.8 4 39.8 4 39.8 89.8 7 90.9 4 6     89.8 9.8 9.8 9.8 9.8 9.8 9.8 9.8 9.8 9.8	項目	カテゴリ	度数	%
無回答 1 0.2 AO入試 51 10.4 推薦入試 138 28.2 一般入試 298 60.9 無回答 2 0.4 居住形態 自宅 209 42.7 自宅以外 278 56.9 無回答 2 0.4  部・サークルの所属 無 137 28.0 有 351 71.8 無回答 1 .2 ボランティア活動 無 166 33.9 有 321 65.6 無回答 2 .4 国際交流経験 無 454 92.8 有 30 6.1 無回答 5 1.0 アルバイト経験 無 92 18.8 有 396 81.0 アルバイト経験 無 92 18.8 有 396 81.0 東回答 1 .2 キャリアデザイン II 無 439 89.8 の履修 46 9.4 東回答 4 .8 実学臨床教育 無 221 90.9 (総合福祉学部のみ) 有 20 8.2 副専攻の履修 無 263 80.9 同事攻の履修 無 263 80.9	性別			29.7
入試形態AO入試 推薦入試 一般入試 無回答51 138 28.2 一般入試 無回答138 298 60.9 42.7 自宅以外 有 無回答209 278 56.9 無回答部・サークルの所属137 48.0 有 有 有 有 351 71.8 無回答137 28.0 71.8 40.2 40.2 40.3 		女性	343	70.1
推薦入試 298 60.9 60.9		無回答	1	0.2
一般入試無回答29860.9無回答20.4居住形態自宅 自宅以外 無回答278 20.456.9部・サークルの所属無回答20.4部・サークルの所属無回答137 351 428.0 71.8無回答1 321 65.6 無回答2 4国際交流経験無回答2 4国際交流経験無回答30 6.1 無回答6.1 30 6.1 4 439 6.1 2アルバイト経験無回答1 89.8 46 9.4キャリアデザインⅡ の履修無回答4 439 46 46 89.8実学臨床教育 (総合福祉学部のみ)無回答 4 4 8 8 8 4 6 8 8 8 6 6 8 6 8 6 6 8 6 6 8 6 8 6 8 6 8 6 8 6 8 6 8 6 8 6 8 6 8 6 8 6 8 6 8 6 8 6 8 6 8 6 8 6 8 6 8 9 7 7 7	入試形態	AO入試	51	10.4
無回答 2 0.4  居住形態 自宅 209 42.7 自宅以外 278 56.9 無回答 2 0.4  部・サークルの所属 無 137 28.0 有 351 71.8 無回答 1 .2 ボランティア活動 無 166 33.9 有 321 65.6 無回答 2 .4  国際交流経験 無 454 92.8 有 30 6.1 無回答 5 1.0 アルバイト経験 無 92 18.8 有 396 81.0 無回答 1 .2  キャリアデザイン I 無 439 89.8 の履修 有 46 9.4 無回答 4 .8 実学臨床教育 無 221 90.9 (総合福祉学部のみ) 有 20 8.2 無回答 2 .8 副専攻の履修 無 263 80.9		推薦入試	138	28.2
居住形態 自宅 209 42.7 56.9 1 278 56.9 1 20		一般入試	298	60.9
自宅以外 無回答27856.9部・サークルの所属無13728.0有35171.8無回答1.2ボランティア活動無16633.9有32165.6無回答2.4国際交流経験無45492.8有306.1無回答51.0アルバイト経験無9218.8有39681.0無回答1.2キャリアデザイン II無43989.8の履修469.4無回答4.8実学臨床教育 (総合福祉学部のみ)無22190.9無回答2.8副専攻の履修 (総合福祉学部、総合マ無26380.9(総合福祉学部、総合マ有257.7		無回答	2	0.4
無回答 2 0.4  部・サークルの所属 無 137 28.0 有 351 71.8 無回答 1 .2 ボランティア活動 無 166 33.9 有 321 65.6 無回答 2 .4  国際交流経験 無 454 92.8 有 30 6.1 無回答 5 1.0 アルバイト経験 無 92 18.8 有 396 81.0 アルバイト経験	居住形態	自宅	209	42.7
部・サークルの所属 無 137 28.0 有 351 71.8 無回答 1 .2 ボランティア活動 無 166 33.9 有 321 65.6 無回答 2 .4 国際交流経験 無 454 92.8 有 30 6.1 無回答 5 1.0 アルバイト経験 無 92 18.8 有 396 81.0 無回答 1 .2 キャリアデザイン II 無 439 89.8 の履修 有 46 9.4 無回答 4 .8 実学臨床教育 無 221 90.9 (総合福祉学部のみ) 有 20 8.2 無回答 2 .8 副専攻の履修 無 263 80.9 (総合福祉学部、総合マ 有 25 7.7		自宅以外	278	56.9
有 無回答351 1 271.8 2ボランティア活動無 有 有 321 45.6 無回答 名 454 454 92.8 有 有 第回答 7ルバイト経験 第四答 名 4 5 7ルバイト経験 第四答 4 第四答 4 第四答 4 第四答 4 8 92 18.8 4396 439 48.8 第四答 46 46 47 439 46 46 48 221 48 221 49.9 48 221 40.9 40 8.2 80.9 40 80.9 80.9 80.9 80.9 9 17.7		無回答	2	0.4
無回答 1 .2 ボランティア活動 無 166 33.9 有 321 65.6 無回答 2 .4 国際交流経験 無 454 92.8 有 30 6.1 無回答 5 1.0 アルバイト経験 無 92 18.8 有 396 81.0 無回答 1 .2 キャリアデザイン II 無 439 89.8 の履修 有 46 9.4 無回答 4 .8 実学臨床教育 無 221 90.9 (総合福祉学部のみ) 有 20 8.2 無回答 2 .8 副専攻の履修 無 263 80.9 (総合福祉学部、総合マ 有 25 7.7	部・サークルの所属	無	137	28.0
ボランティア活動 無 166 33.9 有 321 65.6 無回答 2 4 国際交流経験 無 454 92.8 有 30 6.1 無回答 5 1.0 アルバイト経験 無 92 18.8 有 396 81.0 無回答 1 .2 キャリアデザインⅡ 無 439 89.8 の履修 有 46 9.4 無回答 4 .8 実学臨床教育 無 221 90.9 (総合福祉学部のみ) 有 20 8.2 無回答 2 .8 副専攻の履修 無 263 80.9 (総合福祉学部、総合マ 有 25 7.7		有	351	71.8
有 無回答321 265.6 4国際交流経験無 有 無回答454 30 5 1.0アルバイト経験無 回答92 18.8 有 396 396 396 396 81.0 無回答1 2 2 439 439 46 無回答 4 48実学臨床教育 (総合福祉学部のみ) 無回答 無回答 (総合福祉学部のみ) 有 無回答 4 20 30 		無回答	1	.2
無回答2.4国際交流経験無45492.8有306.1無回答51.0アルバイト経験無9218.8有39681.0無回答1.2キャリアデザインⅡ無43989.8の履修有469.4無回答4.8実学臨床教育無22190.9(総合福祉学部のみ)有208.2無回答2.8副専攻の履修無26380.9(総合福祉学部、総合マ有257.7	ボランティア活動	無	166	33.9
国際交流経験 無 454 92.8 有 30 6.1 無回答 5 1.0 アルバイト経験 無 92 18.8 有 396 81.0 無回答 1 .2 キャリアデザイン II 無 439 89.8 の履修 有 46 9.4 無回答 4 .8 実学臨床教育 無 221 90.9 (総合福祉学部のみ) 有 20 8.2 無回答 2 .8 副専攻の履修 無 263 80.9 (総合福祉学部、総合マ 有 25 7.7		有	321	65.6
有 無回答30 5 1.0アルバイト経験無 有 		無回答	2	.4
無回答 5 1.0 アルバイト経験 無 92 18.8 有 396 81.0 無回答 1 .2 キャリアデザイン II 無 439 89.8 の履修 有 46 9.4 無回答 4 .8 実学臨床教育 無 221 90.9 (総合福祉学部のみ) 有 20 8.2 無回答 2 .8 副専攻の履修 無 263 80.9 (総合福祉学部、総合マ 有 25 7.7	国際交流経験	無	454	92.8
アルバイト経験無9218.8有39681.0無回答1.2キャリアデザインII無43989.8の履修有469.4無回答4.8実学臨床教育無回答22190.9(総合福祉学部のみ)有208.2無回答2.8副専攻の履修無26380.9(総合福祉学部、総合マ有257.7		1	30	6.1
有 無回答396 181.0 2キャリアデザインII の履修無回答 有 無回答 4 無回答 4 48439 46 9.4 4 8実学臨床教育 (総合福祉学部のみ) 有 無回答 2 4 無回答 2 2 3 8 2 6 3 8 3 6 3 6 8 6 8 6 6 8 6 6 6 8 7 7 7 8 9 9 9 4 8 9 		無回答	5	1.0
無回答1.2キャリアデザイン II無43989.8の履修有469.4無回答4.8実学臨床教育無22190.9(総合福祉学部のみ)有208.2無回答2.8副専攻の履修無26380.9(総合福祉学部、総合マ有257.7	アルバイト経験		92	18.8
キャリアデザイン II無43989.8の履修有469.4無回答4.8実学臨床教育無22190.9(総合福祉学部のみ)有208.2無回答2.8副専攻の履修無26380.9(総合福祉学部、総合マ有257.7			396	81.0
の履修有469.4無回答4.8実学臨床教育 (総合福祉学部のみ)無回答22190.9有208.2無回答2.8副専攻の履修 (総合福祉学部、総合マ無26380.9(総合福祉学部、総合マ有257.7		無回答	1	.2
無回答4.8実学臨床教育 (総合福祉学部のみ)無22190.9有 無回答208.2無回答2.8副専攻の履修 (総合福祉学部、総合ママイ26380.97.7	キャリアデザインⅡ	無	439	89.8
実学臨床教育無22190.9(総合福祉学部のみ)有208.2無回答2.8副専攻の履修無26380.9(総合福祉学部、総合マ有257.7	の履修	有	46	9.4
(総合福祉学部のみ)有 無回答20 28.2無回答2.8副専攻の履修無263 2580.9(総合福祉学部、総合マ有257.7		無回答	4	.8
無回答2.8副専攻の履修無26380.9(総合福祉学部、総合マ有257.7	実学臨床教育	1.	221	90.9
副専攻の履修無26380.9(総合福祉学部、総合マ有257.7	(総合福祉学部のみ)	有	20	8.2
(総合福祉学部、総合マ 有 25 7.7		無回答	2	.8
	副専攻の履修	無	263	80.9
カジャル学部の4)   毎日な	(総合福祉学部、総合マ	有	25	7.7
<u> </u>	ネジメント学部のみ)	無回答	37	11.4

表2 利用状況						
X2 11/11/X/X		なし	たまに	ときどき	頻繁に	無回答
図書館	度数	23	126	220	120	0
	%	4.7	25.8	45.0	24.5	0.0
美術工芸館	度数	414	55	15	5	0
	%	84.7	11.2	3.1	1.0	0.0
キャリアセンター	度数	344	108	31	5	1
	%	70.3	22.1	6.3	1.0	0.2
保健室・ウェルネス支援室・学生相談室	度数	319	141	24	4	1
	%	65.2	28.8	4.9	0.8	0.2
コミュニケーションタイム	度数	439	32	10	4	4
	%	89.8	6.5	2.0	0.8	0.8
UNIPA クラスプロファイル機能	度数	135	203	99	50	2
	%	27.6	41.5	20.2	10.2	0.4
Webテキスト「リエゾンゼミ・ナビ」	度数	347	124	14	2	2
	%	71.0	25.4	2.9	0.4	0.4
tfuマイカルテシステム・tfu元気点検道	度数	428	56	3	1	1
場・tfu元気点検票かるた	%	87.5	11.5	0.6	0.2	0.2



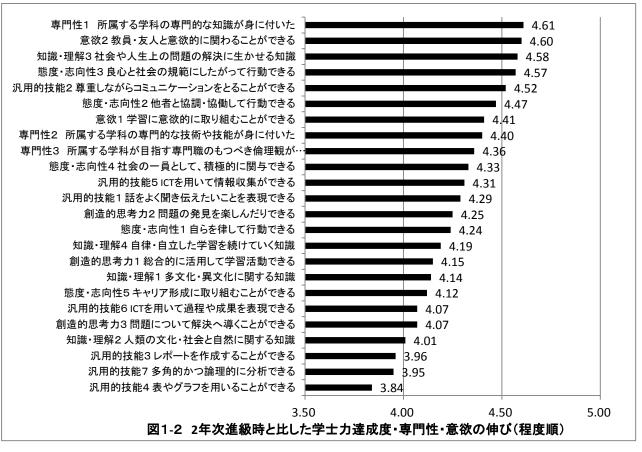


表3 1週間あたりの諸活動時間

		0時間	1時間未満	1~2時間	3~5時間	6~10時間	11~15時間	16~20時間	20時間以上	無回答
屋板していて短巻のマ羽り佐羽ナナフ	度数	39	178	144	80	23	13	1	5	6
履修している授業の予習や復習をする	%	8.0	36.4	29.4	16.4	4.7	2.7	0.2	1.0	1.2
授業に出席する	度数	1	3	6	24	28	74	129	211	13
	%	0.2	0.6	1.2	4.9	5.7	15.1	26.4	43.1	2.7
オフィスアワーを利用するなどして、授	度数	265	155	42	11	1	2	5	4	4
業時間以外に教員と面談する	%	54.2	31.7	8.6	2.2	0.2	0.4	1.0	0.8	0.8
読書をする(予復習のための教科書・専	度数	97	165	117	57	23	8	1	16	5
門書を除く)	%	19.8	33.7	23.9	11.7	4.7	1.6	0.2	3.3	1.0
新聞を読む	度数	231	179	47	18	6	0	0	4	4
<b>新闻を読む</b>	%	47.2	36.6	9.6	3.7	1.2	0.0	0.0	0.8	0.8
ハカ カル マー・コナ語 ギフ	度数	51	170	144	78	21	7	4	10	4
インターネットでニュースを調べる	%	10.4	34.8	29.4	16.0	4.3	1.4	0.8	2.0	0.8
ボランティア活動をする	度数	165	108	73	73	28	9	6	21	6
	%	33.7	22.1	14.9	14.9	5.7	1.8	1.2	4.3	1.2
アルバイトをする	度数	102	14	14	57	84	73	56	81	8
	%	20.9	2.9	2.9	11.7	17.2	14.9	11.5	16.6	1.6

	:と学士力達成度・意欲の伸び │	性	入	居	ル部	アボ	围	ア	ザキ	育実	副
		別	試	住	活•	活ラ	際	ル	17	学	専
		711	形	形	動サ	動ン	交	バ	シリ	臨	攻
			熊	能	J 30 1	- 300 / テ	流	1	IT	床	~
			, E.	200	2	1	2016	۲.	゠゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	教	
知識・理解	多文化・異文化に関する知識				無<有		無<有				
	人類の文化・社会と自然に関する知識										
	社会や人生上の問題の解決に生かせる知識		推薦、一般 <ao< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></ao<>								
	自律・自立した学習を続けていく知識						無く有	200000			
汎用的技能	話をよく聞き伝えたいことを表現できる				無く有		無<有				無く有
	尊重しながらコミュニケーションをとることができる				無く有		無く有	無く有			
	レポートを作成することができる										
	表やグラフを用いることができる			***************************************							
	ICTを用いて情報収集ができる										
	ICTを用いて過程や成果を表現できる						無く有		無く有		
	多角的かつ論理的に分析できる										
態度·志向性	自らを律して行動できる		一般<推薦					000000			
	他者と協調・協働して行動できる				無<有						
	良心と社会の規範にしたがって行動できる										
	社会の一員として、積極的に関与できる		一般<推薦、AO		無く有	無く有					
	キャリア形成に取り組むことができる										
創造的思考力	総合的に活用して学習活動できる										
	問題の発見を楽しんだりできる						無く有				
	問題について解決へ導くことができる						無く有				
	所属する学科の専門的な知識が身に付いた		推薦 <ao< td=""><td></td><td></td><td></td><td>無く有</td><td></td><td></td><td></td><td></td></ao<>				無く有				
専門性	所属する学科の専門的な技術や技能が身に付いた	男く女	推薦<一般 <ao< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></ao<>								
	所属する学科が目指す専門職のもつべき倫理観が身に付いた		推薦<一般 <ao< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></ao<>								
意欲	学習に意欲的に取り組むことができる										
	教員・友人と意欲的に関わることができる				無く有	無く有	無く有	無く有			

表5 学士力・専門知識・意欲と施設利用の関係

リ・専門知識・息欲と他設利用の関係	<u> </u>							
	図書館	美術工芸館	キャリアセン ター	保健室			リエゾンゼミ ナビ	tfuマイカル テシステム
多文化・異文化に関する知識の理解	.17**		.17**		.14**			.11*
人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	.17**		.14**		.15**		.16**	.11*
社会や人生上の問題の解決に生かせる知識	.11*				.12**			
自律・自立した学習を続けていく知識	.12**		.17**		.09*	.10*		
話をよく聞き伝えたいことを表現できる	.10*		.09*		.10*			
尊重しながらコミュニケーションをとることができる					.11*			
レポートを作成することができる	.14**		.09*		.11*			.10*
表やグラフを用いることができる	.11*	.09*	.14**		.19**		.12*	.15**
ICTを用いて情報収集ができる			.09*				.105*	
ICTを用いて過程や成果を表現できる	.11*	.11*	.11*		.10*	.12*	.12*	.09*
多角的かつ論理的に分析できる	.14**	.09*	.12**		.16**		.16**	.13**
自らを律して行動できる								.12**
他者と協調・協働して行動できる			.10*					
良心と社会の規範にしたがって行動できる								
社会の一員として、積極的に関与できる	.14*		.11*					
キャリア形成に取り組むことができる			.14**		.09*			.10*
総合的に活用して学習活動できる	.16**	.13**			.15**			.12*
問題の発見を楽しんだりできる	.14**				.11*		.10*	
問題について解決へ導くことができる	.14**		.12**		.10*			.13**
所属する学科の専門的な知識が身に付いた	.11*					.19**	.12**	.10*
所属する学科の専門的な技術や技能が身に付いた	.13**					.17**		
所属する学科が目指す専門職のもつべき倫理観が身に付いた	.11*		−.10 <b>*</b>			.11*		
学習に意欲的に取り組むことができる	.17**				.13**	.12**		.13**
教員・友人と意欲的に関わることができる					.13**			
	多文化・異文化に関する知識の理解 人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 社会や人生上の問題の解決に生かせる知識 自律・自立した学習を続けていく知識 話をよく聞き伝えたいことを表現できる 専重しながらコミュニケーションをとることができる レポートを作成することができる してを用いて情報収集ができる ICTを用いて情報収集ができる ICTを用いて満程や成果を表現できる 多角的かつ論理的に分析できる しむをは顕・協働して行動できる 良心と社会の規範にしたがって行動できる 社会の一員として、積極的に関与できる キャリア形成に取り組むことができる 問題の発見を楽しんだりできる 問題の発見を楽しんだりできる 問題について解決へ導くことができる 所属する学科の専門的な知識が身に付いた 所属する学科の専門的な技術や技能が身に付いた 所属する学科の専門的な技術や技能が身に付いた 所属する学科の専門的な技術や技能が身に付いた 所属する学科の専門的な技術や技能が身に付いた 所属する学科の専門的な技術や技能が身に付いた 所属する学科の専門的な技術や技能が身に付いた 所属する学科の専門的な技術や技能が身に付いた	図書館	図書館 美術工芸館	図書館 美術工芸館	図書館     美術工芸館     キャリアセンター     保健室ター       多文化・異文化に関する知識の理解     .17**     .17**       人類の文化・社会と自然に関する知識の理解     .17**     .14**       社会や人生上の問題の解決に生かせる知識     .11*     .17**       自律・自立した学習を続けていく知識     .12**     .17**       話をよく聞き伝えたいことを表現できる     .10*     .09*       専重しながらコミュニケーションをとることができる     .14**     .09*       レポートを作成することができる     .14**     .09*       ICTを用いて情報収集ができる     .11*     .11*       ICTを用いて過程や成果を表現できる     .11*     .11*     .11*       多角的かつ論理的に分析できる     .14**     .09*     .12**       自らを律して行動できる     .14**     .11*       自心と社会の規範にしたがって行動できる     .14*     .11*       な合の一員として、積極的に関与できる     .14*     .11*       おものしに活用して学習活動できる     .14**     .13**       問題について解決へ導くことができる     .14**     .12**       所属する学科の専門的な技術や技能が身に付いた     .11*     .13**       所属する学科の専門的な技術や技能が身に付いた     .11*     .10*       所属する学科の専門的な技術や技能が身に付いた     .11*     .10*       学習に意欲的に取り組むことができる     .17**     .17**	図書館     美術工芸館     キャリアセン ター     保健室 ションタイム       多文化・異文化に関する知識の理解     1.7**     1.7**     1.4**       人類の文化・社会と自然に関する知識の理解     1.7**     1.4**     1.5**       社会や人生上の問題の解決に生かせる知識     .1*     .12**     .09*       話をよく聞き伝えたいことを表現できる     .10*     .09*     .10*       事重しながらコミューケーションをとることができる     .10*     .09*     .11*       レボートを作成することができる     .14**     .09*     .14**       ICTを用いて情報収集ができる     .11*     .09*     .10**       ICTを用いて過程や成果を表現できる     .11*     .11*     .10*       多角的かつ論理的に分析できる     .14**     .09*     .12**     .16**       自らを律して行動できる     .14**     .09*     .12**     .16**       自らを律して行動できる     .14**     .11*     .10*       とは協調・協働して行動できる     .14**     .11*     .10**       とかと社会の規範に上たがつきる     .14**     .11*     .10**       とからに活用して行動できる     .14**     .11*     .15**       問題の発見を楽しんだりできる     .14**     .12**     .10*       所属する学科の専門的な対策が身に付いた     .11*     .12**     .10*       所属する学科の専門的な技術や技能が身に付いた     .11*     .11*    10*       宇宙に意欲的に取り組むことができる     .11**    10*       ・10**     .11**    10*       ・10**     .11	図書館         美術工芸館         キャリアセン ター         フミュニケー クラスプロ ファイル機能           多文化・異文化に関する知識の理解         .17**         .17**         .14**           人類の文化・社会と自然に関する知識の理解         .17**         .14**         .15**           社会や人生上の問題の解決に生かせる知識         .11*         .12**         .10**           自律・自立した学習を続けていく知識         .12**         .17***         .09*         .10*           話をよく聞き伝えたいことを表現できる事工したいことがらことができる。.10*         .09*         .10*         .09*         .11*           レボートを作成することができる。.11*         .09*         .14**         .09*         .11*           ルボートを作成することができる。.11*         .09*         .14**         .19**           ICTを用いて情報収集ができる。.11*         .09*         .12**         .16**           自らを律して行動できる。.14**         .11*         .10*         .16**           自らを律して行動できる。.10*         .10*         .10*         .10*           皮心と社会の規範にしたがてきる。.14*         .11*         .11*           オャリア形成に取り組むことができる。.14**         .11*         .15**           問題の発見を案しんだりできる。.14**         .14**         .15**           問題の発見を案したができる。.14**         .11*         .10*           所属する学科の専門的な知識が身に付いた。.11*         .12**         .10*           所属する学科の専門的な技術でも能が身に付いた。.11*         .11*	図書館         美術工芸館         キャリアセン ター         「日本本 ファイル機能」 リエゾンゼミションタイム ファイル機能」 ナビションタイム ファイル機能」 ナビションタイム ファイル機能」 ナビションタイム ファイル機能」 ナビションタイム ファイル機能」 ナビションタイム ファイル機能」 ナビションタイム ファイル機能」 11**         1.17**         1.14**           人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 注意を必要によりできる 対象と人生上の問題の解決に生かせる知識

注1:表中、数値はスピアマンの順位相関係数

注2:有意な相関係数のみ掲載

\* p<.05 \*\* p<.01